

◆ 病理組織・細胞診検査の推移

迅速診断は外科手術や内視鏡手術時に行われる病理診断で、手術中の限られた時間内に病変部の性質を決めたり、転移や病変部の取り残しがないかなどについて調べ切除範囲の決定に役立てるものです。
 当院の乳腺・甲状腺外来で行う針穿刺吸引細胞診(ABC)は、すべて至急扱いのためABC施行後1時間程度で結果を報告しております。

項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
細胞診断件数	5,967	5,895	6,444	6,181	6,162
組織診断件数	3,383	3,551	3,553	3,626	3,505
迅速診断件数(再掲)	157	126	134	93	125
乳腺・甲状腺(再掲)	242	272	350	347	319



